

特別支援教育 あどばいすタイム



日々の支援・指導で困ったときに・・・

～総合教育センター特別支援・相談課における学校支援～



徳島県立総合教育センター
特別支援・相談課

第1回 あどばいすタイム 話題提供

総合教育センターで行っている支援内容について

1) 教育相談について

2) 特別支援について

Ⅰ 教育相談について



教育相談の総合的なプラットフォーム

保護者の支援



ライフサポーター派遣

学校に行きづらくひきこもりがちな児童生徒の家庭や別室登校をしている児童生徒の学校に、臨床心理学を学ぶ大学院生を派遣し、悩みや不安の解消に向けて支援



子どもの支援



教育相談



「電話相談」「来所相談」「メール相談」「出張相談」
悩みの解決を目的に、事案に応じた伴走型の支援を実施

教育相談を中心とした
各種支援事業を展開しています。

教員の支援



不登校児童生徒 支援会議

学校関係者や関係機関を交え、子どもの支援方法について協議し、学校問題に対応する支援体制を構築

教育相談 コーディネーター研修

教育相談の中心的役割を担う人材を育成し、
教育相談コーディネーターを中心とした教育
相談体制を充実

ほっとスペースあせび

不登校やひきこもり傾向等にある
中・高校生等に、センター内外で
スタッフと共に体験活動や
レクリエーションを実施し、
「ほっ」とできる心の居場所を提供



アプリを活用した SNS 相談

1人1台端末等にインストールした相談アプリを活用し、
いじめや様々な悩みに匿名で相談
生徒が抱える様々な悩みや、不安に対する相談を実施

徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課



関係機関との連携

徳島県教育委員会、市町村教育委員会、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育支援センター（適応指導教室）、大学、
児童相談所（こども女性相談センター）、精神保健福祉センター、地域若者サポートステーション、警察、市町村子ども支援担当課など



電話相談・来所相談・メール相談・出張相談



不登校、発達についての相談など、教育に関する様々な相談をお受けしています。

- 対象：18歳までのお子さん、保護者、教員等
- 時間：午前9時～午後5時（土日、祝日を除く）
- 来所相談は、電話での予約が必要 面接時間は1回50分
- 出張相談は、来所相談で必要が生じたときに学校等へ
- 指導上の相談にも対応



不登校児童生徒支援会議ケース会議



当センターの
HPに掲載！

- 専門家からの助言が必要な場合や、学校及び関係機関（SC、SSW等）からの要請があった場合ケース会議を開き協議を行う
- 大学教授、SC、SW、精神保健福祉センターや児童相談所等の参加をお願いすることもできる

不登校児童生徒支援会議（ケース会議）



各学校や保護者（児童生徒）からの要請に応じて、専門家を招き、その事例に応じたケース会議を開催しています。

【対象者】	徳島県内の公立学校の教職員及び保護者等
【開催日時】	要相談（オンラインでも可能です）
【実施場所】	総合教育センター
【参加費】	無料
【アドバイザー】	（関係機関）・鳴門教育大学 ・精神保健福祉センター ・中央こども女性相談センター ・地域若者サポートステーション 等 （役職）・スクールカウンセラー ・スクールソーシャルワーカー ・臨床心理士 ・公認心理師 ・精神保健福祉士 等
【事例】	①教育相談で上がってきた相談に対し、支援方法について専門家を交えて協議 ②精神的に悩みを抱える児童生徒の支援・指導に対する教員（学校）へのアドバイス ③学校、教育支援センター等関係機関が一同に集まり、児童生徒の支援方法について協議・支援内容について連携 ④その他
【申込方法】	088-602-7285にご連絡ください。☎ その際には「ケース会議について」とお話しください。
【その他】	・保護者の方でご希望される場合には、一度来所されての教育相談をお願いします。教育相談のご予約は、上記【申込方法】の番号までご連絡ください。

こんなケースに対応しています！

過去の事例

- ◆ 不登校が多い学年に対する不登校支援の仕方
- ◆ ギフテッドの方に対する支援の仕方
- ◆ 自殺企図の生徒と保護者への支援の仕方
- ◆ 総合教育センターへの相談が続いている生徒への今後の方向性について
- ◆ 教育支援センターとの連携について

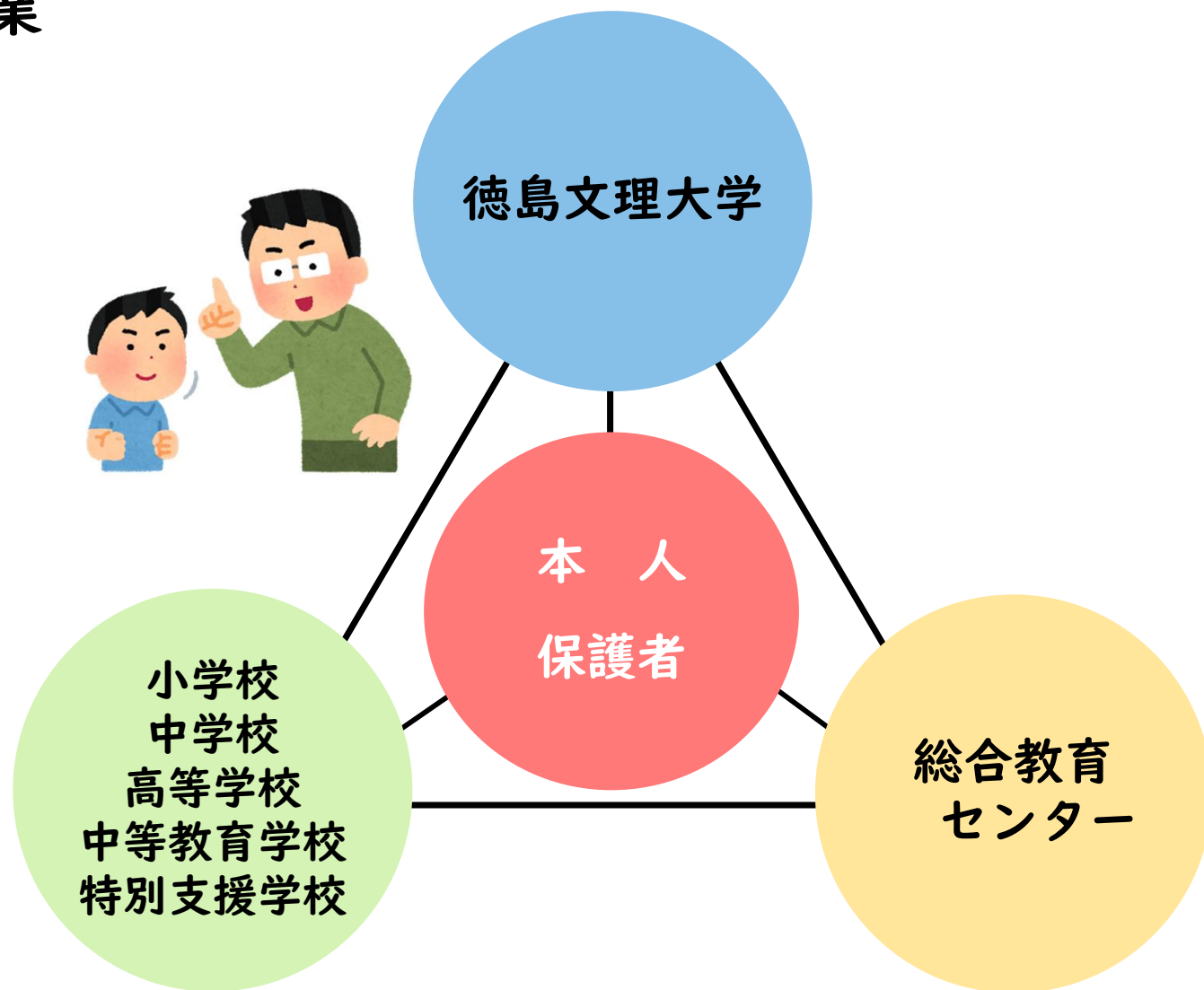


ライフサポーター派遣事業

☆目的☆

他者と関わるきっかけをつくり、自立を側面的に支援し悩みや不安を解消する

不登校でひきこもり傾向にある児童生徒の家庭や学校へ臨床心理学を学ぶ大学院生を派遣



派遣について

令和8年度

ライフサポーター派遣

ライフサポーター派遣とは

無料

不登校でひきこもり傾向にある児童生徒の家庭や、不登校で別室登校をしている児童生徒の学校に、臨床心理学を学ぶ大学院生（ライフサポーター）が訪問します。他者と関わるきっかけをつくり、児童生徒の悩みや不安の解消に向けて支援します。

対象

徳島県内の公立小学校・中学校・高等学校、中等教育学校、特別支援学校の児童生徒です。

活動内容

好きなことを一緒に楽しんだり、話し相手になったりします。先生や友だちとは異なる、年の近い親しい存在として、不安や悩みに寄り添います。

Q&A

Q. 申込の手続きは？

A. 学校を通じてお申し込みいただけます。手続きの大まかな流れは以下のとおりです。なお、申し込みは、随時受け付けます。また、継続の場合も年度毎に申請が必要です。
①申込前に学校から当センターへ連絡（派遣状況等の確認） → ②申請書類を学校を通して当センターへ提出 → ③大学でライフサポーターを選定 → ④当センターから学校へ決定通知書を送付 → ⑤学校とライフサポーター間で連絡・日程調整 → ⑥関係者会議開催後、訪問開始

Q. 申込に際しての注意事項は？

A. 申込には保護者および本人の同意が必要です。また、家庭派遣は保護者が在宅時に限ります。

Q. 派遣期間は？

A. 5月から2月末までです。長期休業期間中（夏休みなど）については、学校、保護者・本人、ライフサポーターで話し合ってから決めます。

Q. 勉強の指導は？

A. ライフサポーター派遣の目的と異なるため、勉強の指導は行いません。

Q. 当日、本人の体調等によりキャンセルする場合は？

A. 速やかにライフサポーターへ連絡してください。キャンセルの場合でも、保護者や先生の話を少しお聞かせいただいたり、本人に手紙を渡していただいたりする目的で、予定の時刻に訪問先にお伺いすることがあります。ご協力をお願いします。

子どもの声

・話しやすく、共通の好きな話題についてたくさん話げできた。
・来てくれる日が楽しかった。
・優しく楽しい方だったので、落ち着いて安心して会話ができた。大学生生活の話も聞けてよかった。

保護者の声

・話を楽しみに学校に行っていた。訪問日は、表情が良くなっていた。
・前向きになっていく様子がよくわかった。出会って感謝している。
・お兄さん的な立場で話してくれ、子どもも構えずに聞かれた。

先生の声

・家庭、学校以外の大人に関わってもらえ、ありがたかった。
・教員が気づかない子どもの一面を引き出してくれた。
・子どもの心を開くきっかけとなる、大切な役割をしてもらえた。

派遣期間

令和8年5月～令和9年2月末

長期休業期間中については、学校、保護者・本人、ライフサポーターで話し合ってから決定

訪問時間

週1回、1時間（毎週決まった曜日、時間帯）
活動は平日の日中時間帯

活動内容

好きなことを一緒に楽しんだり、話し相手になったりする先生や友だちとは異なる年の近い親しい存在として、不安や悩みに寄り添う

徳島県立総合教育センター
特別支援・相談課

088-672-5200

〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷1-7

<https://www.tokushima-ec.ed.jp/>

派遣方法

家庭派遣

不登校でひきこもり傾向にある児童生徒の自宅等に訪問

学校派遣

不登校で別室登校をしている児童生徒が在籍する学校へ訪問

※徳島市在住で徳島市立の小・中学校に在籍する場合は、学校派遣のみの適用



	実施回数	派遣実績				
		計	小学生	中学生	高校生	特別支援学校
R7	家庭派遣 15回	2ケース	1ケース 11回	1ケース 4回	0ケース 0回	0ケース 0回
	学校派遣 39回	4ケース	1ケース 15回	3ケース 24回	0ケース 0回	0ケース 0回

派遣までの手順

ライフサポーター派遣を検討している児童生徒について、総合教育センター担当者に連絡・相談



学校を通じて家庭にチラシを配付・説明
派遣希望の有無を
児童生徒と保護者に確認



保護者の依頼を受け、**学校長が適当と判断した場合**、総合教育センター所長に書類を提出



大学での協議を経て、派遣するライフサポーターを決定



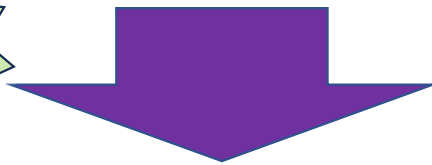
総合教育センターから、当該学校へ派遣するライフサポーターについて通知



初回関係者会議を開催
※関係者会議：学校関係者、ライフサポーター、SC等



派遣開始!



家庭派遣では、原則として初回の家庭訪問時は担任が同行
学校派遣では、原則として活動開始時と終了時は学校の教員等が立ち会う

アプリを活用したSNS相談

SOSを見逃さない匿名相談アプリ活用事業

1人一台端末やスマホ等にインストールした相談アプリを活用し、いじめや様々な悩みや、不安に対する相談を実施

対 象

県内の中学校、高等学校、
中等教育学校、
特別支援学校中学部・高等部の
生徒

相談時間

平日 17:00～22:00
(24時間チャット入力可能)



アプリの活用について

悩みって？

「友人関係」 「心身の健康・保健」
「恋愛に関する悩み」 「学業・進路」

など

メリットは？

日常的に早い段階で相談することで、本人の思いを汲み取ることができる事案が多い

中には緊急を要する内容も
その際は、速やかに対応し、早期解決に向けて学校や関係機関と連携

答えてくれるのは専門家

臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、社会福祉士などの資格を持った専門家がリアルタイム・双方向で対応



ほっとスペースあせび

対 象



不登校やひきこもり傾向等
にある中学生・高校生等
(保護者：教育相談)



目 的



- 「ほっ！」とできるこころの居場所
- 子どもに寄り添った活動を通じて、悩みや不安の解消を図る
- 自己肯定感を高め、学校復帰や社会的自立につながるよう支援

活動について

ほっとスペース あせび

「学校以外で誰かといっしょになりたい。」
「ちょっと新しい経験をしてみたい。」みなさんに、
「ほっ」とできる居場所を準備しました。



臨床心理学を学ぶ大学院生が、
スタッフとしていっしょに活動します。

期間 令和8年5月から令和9年2月まで
1回だけの参加や興味のある内容の時だけの参加でもOK!

日時 金曜日に実施(開催日はWebサイトでご案内します)
午後1時30分から午後3時30分まで

場所 徳島県立総合教育センター1階
こころとからだのサポートセンター
徳島バス「あすたむらんど経由鍛冶屋原行」により
「文化の館前」で下車

対象者 徳島県内の**中**学生・**高**校生等

活動内容 ◆体験活動(ガーデニング・工作・調理など)
◆レクリエーション(室内ゲーム・テニスなど)



「出張ほっとスペースあせび」
については、今年は年間6回開催
予定(初回は6月)です!
詳細はHPで随時UPします。

金曜日に実施している

「ほっとスペースあせび」の活動内容は、
こちらのアドレスまたは、二次元コードから
→【HP】<https://www.tokushima-ec.ed.jp>



お問い合わせ

- * 参加費は**無料**
(ただし、調理等で材料費を自己負担していただく場合があります。)
- * **初めて参加される時のみ**、事前にお問い合わせください。

徳島県立総合教育センター特別支援・相談課

【住所】 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷1-7

【電話】 088-672-5200 (年末年始を除く、平日の9:00から17:00)

日時・場所

金曜日 13:30から15:30まで

特別支援・相談課


「こころとからだのサポートセンター」

活動内容

- ・制作、ガーデニング、調理などの体験活動
- ・室内ゲーム、テニスなどのレクリエーション

周知啓発

■ ホームページ



「ほっとスペースあせび」とは・・・

不登校やひきこもりがちな**中学生・高校生等**に「こころの居場所」を提供し、様々な活動を通じて悩みや不安の解消を図り、自己肯定感を高め、学校復帰や社会的自立に繋がるよう支援する取組です。

【対象者】	徳島県内の不登校やひきこもりがちな 中学生・高校生等 とその保護者
【実施日時】	毎週金曜日 午後1時30分～午後3時30分（※ただし、長期休業中はお休みしています。）
【実施場所】	総合教育センター内「こころからのサポートセンター」
【参加費】	無料 （※ただし、調理等に必要な材料費等は自己負担となります。）
【スタッフ】	・総合教育センター担当職員 ・臨床心理学を学ぶ大学院生 等
【活動内容】	参加者の興味関心の高い活動を中心に計画します。 ※日時や活動内容については、 こちらから！
	【例】 体験活動（調理・ガーデニング・工作） レクリエーション（室内ゲーム・卓球） 散策（総合教育センター周辺） 自主学習座談会 等
【その他】	・1回の参加でもOKです。 ・希望する保護者の方には、個別相談を実施しています。 ・初めて参加される方は、 事前にお問い合わせください。

■ 広報資料



12月 ほっとスペースあせびの活動内容

- 5日(金) **クリスマスツリーをつくろう！**
(出張ほっとスペースあせび)
- 12日(金) **Myはにわフレンズ**
～はにわを作ろう～
- 19日(金) **おいしい楽しいクリスマス★**
～パンケーキをテコろう～

場所 5日 阿南市社会福祉会館4階
12日、19日 徳島県立総合教育センター

「学校以外で誰かといっしょに**つながり**たい」
「ちょっと**新しい経験**をしてみたい」そんなみなさんに、「ほっと」のできる居場所を準備しました。

ほっとスペースあせび

令和7年5月～令和8年2月(長期休業中は除く)
1回1回の参加で興味のある内容の場だけの参加でもOK!

期間 毎週金曜日
日時 午後1時30分～午後3時30分
場所 徳島県立総合教育センター1階
こころからのサポートセンター
対象者 徳島県内の**中学生・高校生等**
活動内容 ◆体験活動(ガーデニング・工作・調理など)
◆レクリエーション(室内ゲーム・テニスなど)

徳島県立総合教育センター特別支援・相談課
【住所】 徳島県板野郡板野町大伏字東台1-7
【電話】 088-672-5200 (年末年始を除く、平日の9:00～17:00)

毎週金曜日実施している「ほっとスペースあせび」の活動内容は、こちらのアドレスまたは、二次元コードから！

【HP】 <https://www.tokushima-ec.ed.jp>



第2回 出張 ほっとスペースあせび

参加費 **無料**

「誰かとつながりたい」「ちょっと新しい経験をしてみたい」みなさんに、「ほっと」のできる居場所を準備します。毎週金曜日に板野町で実施している「ほっとスペースあせび」がまちづくり協働プラザに出張します♪

日時 2025年7月11日(金)
13:30～15:30

場所 まちづくり協働プラザ
(徳島市寺島本町西1丁目5番地
アミコ東館7階)

活動内容 おしゃべりとストーリーを使った
インテリア雑貨作り

対象 徳島県内の
中学生・高校生等

お部屋に飾れる
インテリア
雑貨をつくるよ★

※ 参加される方は、事前にお問い合わせください。

徳島県立総合教育センター特別支援・相談課
【住所】 徳島県板野郡板野町大伏字東台1-7
【電話】 088-672-5200 (年末年始を除く、平日の9:00～17:00)

毎週金曜日実施している「ほっとスペースあせび」の活動内容はこちらのアドレスから

【HP】 <https://www.tokushima-ec.ed.jp>

総合教育センターの教育相談及び各種事業のご案内

このようなことが気になっていませんか？



- 不登校
- いじめ
- 進路適性
- 学業不振
- 学校生活
- 子どもの発達

教育相談

電話相談 …088-672-5200(平日の9:00~17:00)

来所相談 …事前の電話予約が必要です。

メール相談 …tokubetsushien@mt.tokushima-ec.ed.jp

出張相談 …来所相談の中で必要が生じた場合、学校などに出向きます。



読み書き計算の遅れ

落ち着きがない

コミュニケーションが苦手

友だちとのトラブルが多い

興味・関心に偏りがある

その他、教育に関すること



*不登校やひきこもりの相談、発達障がいを含む障がいのある子どもについての相談などに応じます。
*保護者の方からの相談はもちろん、教職員の指導上の質問や相談にも応じます。
*心理検査は行っていません。

ライフサポーター派遣

対象:徳島県内の小中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童生徒
派遣期間:4月~2月末(長期休業日については要相談)
週1回、1時間(毎週決まった曜日、時間帯)
活動は平日の日中時間帯

※先生や友だちとは異なる年齢の近い大学生を家庭や学校に派遣



不登校児童生徒支援会議

対象:徳島県内の公立学校の教職員及び保護者等
実施場所:総合教育センター(オンラインでも可能)
関係機関:大学教授、SC、SSW、精神福祉センター、児童相談所、教育支援センターなど

※各学校や保護者(児童生徒)からの要望に応じて、専門家を招き、その事例に応じたケース会議を開催



教育相談コーディネーター研修

対象:徳島県内の小中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教育相談コーディネーター
不登校やいじめ問題などに対する教育相談を中心とした児童生徒支援の在り方や、研修・事例検討などを通して各学校における教育相談コーディネーターを中心とした教育相談体制の充実・推進



ほっとスペースあせび

対象:徳島県内の不登校やひきこもり傾向にある中学生、高校生等
実施期間:5月~2月末(長期休業期間中はお休み)
毎週金曜日 13:30~15:30

場所:総合教育センター1階「ここからだのサポートセンター」
※「出逢ほっとスペースあせび」の実施時間・場所については、総合教育センターWebサイトに掲載



アプリを活用したSNS相談

対象:公立中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校中学部・高等部の生徒



一人で悩まずに
ご相談ください!

徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課

18歳までの幼児・児童生徒、保護者、教職員などが対象です。



2) 特別支援について

「特別支援教育について知りたい！」



「特別支援教育って
どんなことをするの？」

「子どもたちの支援に役立つ
情報が知りたい！」



特別支援・相談課では、
学校の先生方や特別支援教育に携わる方々を
全力で応援します！

要請訪問B



➤ 目的

特別支援教育に関する研修の充実と指導力の向上

➤ 対象

幼・こども園、小・中・高、中等教育、特別支援の各学校・園

➤ 内容

研 修 会 : ポジティブ行動支援 (PBS)、自立活動 等

児童生徒支援: 個別指導、環境設定 等

要請訪問B

➤ 申し込み方法

①特別支援・相談課に電話連絡。
日時等について要相談。

②申請書の記入

総合教育センターHP

→「教職員支援・学校支援」

→要請訪問

→幼・小・中学校申請書ダウンロード
(もしくは県立学校)

③申請書を特別支援・相談課へ送付

※特別支援・相談課代表： tokubetsushien@mt.tokushima-ec.ed.jp



別紙様式

		※注1 令和 年 月 日	
(※注2) 殿	園・学校名 園・学校長	
		<公印省略>	
(※注3)	による要請訪問の希望について(依頼)	
このことについて、次とおり希望しますので、指導者を派遣していただきますようお願いいたします。			
1 日時	令和 年 月 日 (曜日)	午前・午後 時 分 から 午前・午後 時 分まで	
2 場所	(園・学校名) (住 所)		
3 訪問種別・希望教科等	要請訪問A ・ 要請訪問B (いずれかを○で囲む)	希望教科等	
4 研究課題・内容等	※注4		
5 その他(希望する指導者を記入する)			

※注1・訪問希望日の1ヵ月前までに送付してください。

*要請訪問A：特別支援学校の授業研究における指導助言等に活用できます。

特別支援教育に関する支援② 特別支援「まなびの広場」

特別支援「まなびの広場」

▶あなたの「知りたい!学びたい!」
を応援します!



▶特別支援まなびの広場

総合教育センターHP

→「教育相談・特別支援」

→特別支援まなびの広場

- ・教職員のまなび
- ・子どものまなび
- ・ポジティブ行動支援
- ・学校コンサルテーション



特別支援・相談課HP

教育相談

教育相談

- ・教育相談
- ・教育相談に関する資料
- ・施設案内

不登校支援

- ・ライフサポーター派遣
- ・NEWほっとスペースあせび
- ・不登校児童生徒支援会議
- ・ポジティブな登校支援
- ・不登校支援報告会

特別支援

特別支援

- ・教育課程関係資料 (特別支援学校)
- ・教育課程関係資料 (小・中学校)
- ・通級指導教室
- ・特別支援学級
- ・NEW特別支援教育に関する資料
- ・特別支援学校へのリンク
- ・関係機関へのリンク
- ・検査器具等貸出について

認定講習

特別支援まなびの広場

教職員のまなび

- ・NEWあどばいすタイム
- ・特別支援教育に関するFAQ
- ・特別支援教育e-ラーニング
- ・NEW特別支援学級ハンドブック

子どものまなび

- ・学習教材e-ラーニング
- ・算数の学習教材

特別支援まなびの広場

教職員のまなび

- ・NEWあどばいすタイム
- ・特別支援教育に関するFAQ
- ・特別支援教育e-ラーニング
- ・NEW特別支援学級ハンドブック

子どものまなび

- ・学習教材e-ラーニング
- ・算数の学習教材

ポジティブ行動支援

- ・NEW PR動画
- ・パンフレット・リーフレット
- ・研修用動画
- ・研修資料・教材例
- ・Q & A
- ・実践事例
- ・NEWとくしまPBS7ワード

学校コンサルテーション

- ・小・中学校
- ・特別支援学校
- ・給食等の指導
- ・不登校支援

特別支援教育に関する支援②

特別支援 「まなびの広場」 教職員のまなび



教職員のまなび

特別支援学級ハンドブック

▶特別支援学級ハンドブック

教職員のまなび

- NEW あどばいすタイム
- 特別支援教育に関するFAQ
- 特別支援教育e-ラーニング
- NEW 特別支援学級ハンドブック

子どものまなび

- 学習教材e-ラーニング
- 算数の学習教材

ポジティブ行動支援

- NEW PR動画
- パンフレット・リーフレット
- 研修用動画
- 研修資料・教材例
- Q & A
- 実践事例
- NEW とくしまPBSアワード

学校コンサルテーション

- 小・中学校
- 特別支援学校
- 給食等の指導
- 不登校支援

教室環境

教材・教具

授業事例

引継様式例

「特別支援学級ハンドブック改訂版」の内容

I 特別支援教育とは

1. 特別支援教育とは

V 理解推進と連携のための方法

1. 校内支援体制について（校内支援体制の構築、管理職や特別支援教育コーディネーターの役割）
2. 保護者・地域への理解啓発（正しい理解と啓発）

II 特別支援学級について

1. 特別支援学級とは（対象となる児童生徒）
2. 新年度の準備（4月当初にしておきたいこと）
3. 障がい特性に応じた支援と配慮の基本（特性に応じた支援の例）
4. 児童生徒の理解の工夫（実態把握、行動観察）

VI さらなる支援の充実の方法

1. 構造的行事での支援（入学式・卒業式）
2. 教科用図書の鑑定（教科用図書）
3. 福祉の制度及びサービスについて（障がい者手帳）
4. 進路についての支援と配慮（進路の例）

III 学習指導について

1. 教育課程の編成（特別の教育課程、自立活動他、授業時数の配当、時間割の作成）
2. 特別支援学級における学習指導（指導における支援と配慮、指導形態、年間指導計画の作成、各教科等における配慮事項）
3. 個別の指導計画と指導・支援のポイント（個別の指導計画、学習指導案様式例、各障がい学級の指導・支援のポイント）
4. 交流及び共同学習（交流及び共同学習のポイント）
5. 評価について（通知表の作成、指導記録の記載）

VII 知っておきたい「関連する法令等」.pdf

1. 関連する法令・通知等（教育基本法、学校教育法他）
2. 専門性チェックシート

IV 充実した支援のための方法

1. 保護者との連携（保護者との面談において、連携の場、連携の方法）
2. 個別的教育支援計画（連携と支援の継続のためのツール、合理的配慮の提供、関係機関との連携）
3. 引継ぎ（引継ぎの資料等）

全体版ダウンロードサイトはこちら.pdf ↓



チェックシートは、コピー又はダウンロードをして御活用ください。

特別支援学級担任教員に求められる専門性チェックシート		記入日：1回目 月 日	
		記入日：2回目 月 日	
項目		できている	できていない
実態把握	児童生徒の障がいの状態、発達や生活経験の程度、興味・関心、生活や学習環境などの実態を的確に把握する。		
	児童生徒本人と、保護者の希望や教育的ニーズを把握する。		
	これまで作成された個別的教育支援計画をもとに、関係機関や保護者と連携して、今後の支援や指導の計画を立てる。		
指導計画	児童生徒の実態や教育的ニーズを踏まえて、学校における合理的配慮の提供について児童生徒本人や保護者と合意形成を図って計画する。		
	児童生徒の実態から、具体的な目標や手立てを設定し、個に応じた指導・支援の実践に生かす。		
年間指導計画	年間指導計画を作成したり、学級経営の目標（学級経営方針）を設定する。		
	掲示物を工夫するなどして、教室内の刺激の量を調整する。		
環境設定	構造化の手法（空間、時間、ワークシステム等）を取り入れたり、学級内のルールの明確化を図ったりする。		
	児童生徒の不器用さや感覚過敏等への配慮をする。		

特別支援学級担任 専門性チェックシート

授業の見直しをもつ、活動の理解を促す

黒板を利用

ICTを利用

個別のタブレットに配信、電子黒板に示す

授業の簡単な流れ・活動時間、活動内容等を示す

個人に合わせた気を引き出すための支援

既習事項の確認

教室の側面や背面に既習事項を掲示する

個に応じた気を引き出すための支援

みんなの約束を見て確認

見れば分かるようにルールを教室に掲示する

積極的に授業に参加

話し合いの手引き準備
- 考え合わせ、ノートチェック、意見交換、意見合意 -

ペア学習やグループ学習を活用する

みんなのアイディア

特別支援教育に関する支援② 特別支援「まなびの広場」 子どものまなび



特別支援 まなびの広場

教職員のまなび

- NEW あどばいすタイム
- 特別支援教育に関するFAQ
- 特別支援教育e-ラーニング
- NEW 特別支援学級ハンドブック

子どものまなび

- 学習教材e-ラーニング
- 算数の学習教材

ポジティブ行動支援

- NEW PR動画
- パンフレット・リーフレット
- 研修用動画
- 研修資料・教材例
- Q & A
- 実践事例
- NEW とくしまPBSアード

学校コンサルテーション

- 小・中学校
- 特別支援学校
- 給食等の指導
- 不登校支援

子どものまなび

➤算数の学習教材

算数の学習教材

算数の学習でつまずきやすい単元についてプリント教材を作成しました。問題はスモールステップで構成させているため「わかった」「できた」を積み重ねながら学習を進めることができます。

各教材には活用方法がありますので仕様書を確認した上で活用してください。ただし、児童生徒の実態に応じて柔軟に活用していただいてもかまいません。

*このプロジェクトでの教材は、法政大学 教授 島宗 理 氏の監修のもと作成しています。

【※ご利用になる際は、こちらをお読みください】 ←クリック

公開している教材

対象学年	教材名
小学1年生以上	「時計のれんしゅう」「時計」「たすのかな ひくのかな」「なんばんめ」
小学2年生以上	「時ごとと時間」
小学3年生以上	「わり算を使った文しょうだい」
小学4年生以上	「わり算の練習」「大きな数*」
小学5年生以上	「平均」「割合の問題*」

本教材は法政大学文学部心理学科島宗教授による監修のもと作成され、小学生を対象とした試用とそれに基づく改善が行われました。ただし、「*」の付いた教材は、島宗教授による監修のもと作成されましたが小学生を対象とした試用とそれに基づく改善はまだ行われていません。

時ごとと時間

小学2年生の算数科の単元「時ごとと時間」の教材です。

基本問題とチャレンジ問題があります。

わかった! できた!

算数の もんだいをといて
さんずうレンジャーに へんしんだ

「時ごとと時間」

まんずうレンジャー

年 級 番

名前

時ごとと時間のれんしゅう 1-1-1

1. いま 1時間あとは 時	2. いま 1時間あとは 時
3. いま 2時間あとは 時	4. いま 3時間あとは 時
5. いま 4時間あとは 時	6. いま 1時間あとは 時
7. いま 3時間あとは 時	8. いま 2時間あとは 時
9. いま 3時間あとは 時	10. いま 4時間あとは 時

まなびの広場

時ごとと時間
ワークシート



教職員のまなび	NEW @あとはまなびタイム ・特別支援教育に関するFAQ ・特別支援教育に関するe-ラーニング ・通級による指導のハンドブック
子どものまなび	・学習教材e-ラーニング ・算数の学習教材
ポジティブ行動支援	・PR動画(1分) ・パンフレット・リーフレット ・研修用動画 ・研修資料・教材例 ・Q & A ・実践事例
学校コンサルセッション	小・中学校 ・特別支援学校 ・給食等の指導
不登校支援	NEW チラシ・保護者の声 ・実践事例

ポジティブ行動支援

ポジティブ行動支援 研修用動画

これまで徳島県の特別支援教育に指導助言をいただいていた最新の研究知見を有する教育分野の研究者で構成する「新時代『発達障がい教育』推進プロジェクトチーム」作成による、ポジティブ行動支援 (PBS) についての研修用動画を公開しています。

各校におけるポジティブ行動支援の推進・充実にめざし、校内研修や自己研修に、ぜひご活用ください。

ポジティブ行動支援研修用動画一覧

ポジティブ行動支援研修用動画 全24本 公開中!

(上から順番に次のとおり、動画が並んでいます。)

1. 「PBSの基本を学びたい!」
 - 1-1 ポジティブ行動支援 (PBS) とは? (約20分)
 - 1-2_ポジティブ行動支援の基本1 (約13分)
 - 1-3_ポジティブ行動支援の基本2 (約14分)
 - 1-4_標的行動の決め方 (約24分)
2. 「第1層支援について学びたい!」
 - 2-1_ポジティブ行動支援の具体的な手立て① (約17分)
 - 2-2_ポジティブ行動支援の具体的な手立て② (約19分)
 - 2-3_ポジティブ行動支援の具体的な手立て③ (約16分)
 - 2-4_学校規模ポジティブ行動支援① (約32分)
 - 2-5_学校規模ポジティブ行動支援② (約36分)

▶ 研修用動画

ポジティブ行動支援研修用動画©徳島県教育委員会

← 一覧へ

ポジティブ行動支援とは?

- ・ Positive Behavior Support (PBS)
- ・ 「**ポジティブな行動を**」「**ポジティブな方法で**」支援するための枠組み
- ・ 「問題行動を減らすこと」を最終的な目的とせず、子どもにとって意義のある行動を育てることを重視する
- ・ 罰的な手続きに頼らず、「環境設定」と「適切な指導・練習」、「賞賛・承認」による包括的なアプローチを行う

1:56 / 19:44

研修用動画の一部分

ポジティブ行動支援研修用動画©徳島県教育委員会

4. 第3層支援について学びたい!

全ての動画 ▾ タイトル順 ▾ 10件 ▾

チームで取り組む第3層支援 NEW 4-1_チームで取り組む第3層支援 前編

Web管理者
▶ 597 🔒 0

第3層（個別）支援の研修用動画も充実

特別支援 まなびの広場

教職員のまなび

- ・NEW あどばいすタイム
- ・特別支援教育に関するFAQ
- ・特別支援教育e-ラーニング
- ・NEW 特別支援学級ハンドブック

子どものまなび

- ・学習教材e-ラーニング
- ・算数の学習教材

ポジティブ行動支援

- ・NEW PR動画
- ・パンフレット・リーフレット
- ・研修用動画
- ・研修資料・教材例
- ・Q & A
- ・実践事例
- ・NEW とくしまPBSアード

学校コンサルテーション

- ・小・中学校
- ・特別支援学校
- ・給食等の指導
- ・不登校支援

学校コンサルテーション

特別支援学校コンサルテーション

徳島県では、障がいの有無等に関わらず、すべての人が安心して暮らし、自立しながら支え合い、個性や能力を発揮して活躍し続けられる「ダイバーシティとくしま」の実現に向けて、多様な学びの場の充実や、特別支援学校のセンター的機能の充実と専門性向上を図るために、これまで徳島県の特別支援教育に指導助言をいただいていた最新の研究知見を有する教育分野の研究者で構成する「新時代『発達障がい教育』推進プロジェクトチーム」を設置し、県下全域において最新の研究知見と科学的根拠に基づいた特別支援教育の充実を図っています。

徳島県の特別支援学校で「新時代『発達障がい教育』推進プロジェクトチーム」の専門家等と連携し、実践研究に取り組んだ内容を紹介いたします。

是非、多くの皆様にご覧いただき、日頃の指導実践にいかしてください。

*学校コンサルテーション：学校が抱える指導上の諸問題を解決するための方策等について、豊富な知識や経験を有する専門家が、教員への助言を行うとともにその実行を援助する取組である。徳島県では1事例につき原則年間2回のコンサルテーションを実施している。

小学部

- 1 特別支援学校小学部児童に対するエコーブックで物の名前を覚える指導.pdf
- 2 特別支援学校小学部児童に対する要求や報告のコミュニケーションスキルを教える指導.pdf
- 3 特別支援学校小学部児童に対するお尻を出さずに排尿することを教える指導.pdf
- 4 特別支援学校小学部児童に対するコミュニケーションスキルを教える指導.pdf
- 5 体の動かし方に不器用さのある特別支援学校小学部児童に対するセンシング技術を活かした体力（持久力）向上への取組.pdf
- 6 特別支援学校小学部児童に対する10秒以内にトイレの流水ボタンを押すための支援.pdf
- 7 特別支援学校小学部児童に対する自立課題への取組を通じて一人で落ち着いて過ごすことができるための支援.pdf
- 8 特別支援学校小学部児童に対する帰りの会におけるコミュニケーションの指導について.pdf
- 9 特別支援学校小学部児童に対する国語の文章読解に関する指導.pdf
- 10 特別支援学校小学部児童に対する情緒の安定に関する指導について.pdf
- 11 特別支援学校小学部児童に対する休憩を要求することで他害行動を減らすための指導.pdf
- 12 不注意の傾向が強い特別支援学校小学部児童に対する色の理解や受容、視線の移し方を教える指導.pdf
- 13 特別支援学校小学部児童に対するトークンエコノミーシステムを活用した効果的なコミュニケーション能力向上を図る支援.pdf

不登校支援コンサルテーション

行動契約法・スモールステップ法 ・トークンエコノミーシステム

チャレンジ表の作成：ルール・手続き・「お楽しみ」の可視化

- ・チャレンジができたかどうかは、お母さんがチェックします！
- ・お楽しみは、お父さん、お母さんからもらえます☆

☆お楽しみ☆

おみくし300円券 (1組別給付) 土日YouTube 30分 土日YouTube 30分

【お楽しみこうかん】

- ・〇が 8～10こで お楽しみ 3こ
- ・〇が 5～7こで お楽しみ 2こ
- ・〇が 3～4こで お楽しみ 1こ
- ・〇が 1～2こで お楽しみ 0こ

	①朝、自分で起きる。(6:30まで)	②夜ごはんを食べた食器を台所にもって行く。
月		
火		
水		
木		
金		
〇の数		

1週間の「〇」の合計数に応じて、お楽しみをGET!



小学校実践事例の一部分

登校できた時間	11月											
1時限												
2時限												
3時限												
4時限												
5時限												
土												
日												
月	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
月	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	25	26	27	28	29	30						
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月	25	26	27	28	29	30						

・JRで登校できた日はJRシールを貼る(ボーナス3ポイント)

・授業に参加できた時間を塗る(1時間につき1ポイント)

・下校前に1日の振り返りで記入する
・1日最大10ポイントで50ポイント
毎にDVDを借りることができる

特別支援学校の事例も掲載されています

特別支援教育について、
オンデマンドで学べる
Webサイトです。

特別支援教育 あどばいすタイム

忙しい毎日にそっと寄り添う、すぐに使える特別支援のヒント集。
やさしく学べて明日がちょっと軽くなる動画が満載！

お役に立つ
情報が
てんこ盛り♪



配信日

毎月下旬（配信日は掲示板でお知らせ）

アクセス
方法

①インターネットで「特別支援まなびの広場」を検索

②「あどばいすタイム」をクリック

③「配信中の動画」をクリック



公開中の動画

その他
多数配信中

- ・ 小学校体育における共生の視点を踏まえた授業の在り方について
- ・ 音楽の楽しさを引き出す授業アイデアと支援の工夫
- ・ 発達のアンバランスのある幼児の主体性や自立心を伸ばす支援
- ・ 通級による指導の役割と活用
- ・ みんなでつなぐ校内支援体制
- ・ 本県にける医療的ケアの現状
- ・ 知っておきたい！教育支援委員会の流れ



問い合わせ

徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課
TEL 088-602-7205



😊「あどばいすタイム」へようこそ😊

ご質問やご相談のある方は・・・

➤ 相談専用電話について

(不登校や発達、教育に関する様々な相談)

- ・電話番号: 088-672-5200
- ・対応時間: 平日午前9時から午後5時まで

➤ 事務局用電話について

- ・電話番号

特別支援担当: 088-602-7205

教育相談担当: 088-602-7285



ご清聴ありがとうございました



援教育について、
マンドで学べる
bサイトです。

特別支援教育

あとばいすタイム

次回のあとばいすタイムも ぜひご参加ください！